

報道機関 各位

山形大学米沢キャンパス×置賜総合支庁 「県営林を実習フィールドにした人材育成」に係る覚書を締結

国立大学法人山形大学米沢キャンパスと置賜総合支庁は、令和6年3月14日に「県営林を実習フィールドにした人材育成」に係る連携・協力に関する覚書を締結しましたのでお知らせします。

記

1 目的

県産木材の利用拡大を推進するためには、木材利用の大半を占める建築分野における木材利用を拡大していく必要があります。そのためには建築に関わる設計・建築士に木材の役割や大切さを理解いただき、積極的に木材利用を提案、デザイン、設計いただくことが重要です。

そうした中、置賜総合支庁管内には、木造建築分野を一つの柱として建築士などの人材を育成する山形大学工学部建築・デザイン学科があり、当学科に対し実践的な学びの機会を提供することで学生の木材に対する関心と理解を深め、木材に精通し積極的に活用する建築士等の育成に寄与し、県産木材の利用拡大につなげることを目的に本覚書を締結いたしました。

2 連携の内容

置賜総合支庁森林整備課所管の三沢県営林（所在地：米沢市大字入田沢地内、面積：423.67ha）を現地実習フィールドとして国立大学山形大学米沢キャンパスに提供するとともに、実習の企画運営に対する支援（機械貸与、指導者派遣など）を行います。

3 令和6年度実習計画

時期：令和6年秋

内容：植林（スギ苗等の植え付け）

問合せ先

産業経済部森林整備課

課長補佐（林政企画） 細谷一彦

TEL 0238-26-6063

報道監 総務企画部長 佐々木秀徳